



42

# [teeta]

「テエタ」はアイヌ語で“昔”を意味します。北の大地で繰り広げられた昔の人々の文化や環境を、現在と未来の人々に伝えるのが私たちの仕事です。昔のこと、古いことを広く知ってほしいという願いを込めて「テエタ」をこの冊子のタイトルにしました。



公益財団法人  
北海道埋蔵文化財センターだより

- 2018年度の発掘調査概要 ..... 2
- 2018年度発掘調査一覧 ..... 2
- 2018年度の発掘調査（2018年度後半） ..... 3
- 2019年度発掘調査予定一覧 ..... 4
- 公益財団法人北海道埋蔵文化財センター 2018年度発掘調査成果展のご案内 ..... 4
- 公益財団法人北海道埋蔵文化財センター 2018年度発掘調査報告会のご案内 ..... 4



木古内町幸連5遺跡出土長野県産黒曜石で作られた石鎌（縄文時代中期後半～後期初頭（約4,300～4,000年前）

## 表紙解説

写真は、東側斜面の盛土遺構から石鎌が出土した様子です。石鎌は透明感の強い黒曜石製で、一辺が深くV字に抉れた形状をしています。大きさは長さ2.54cm・幅1.49cm・厚さ0.44cm、重さは1.1gです。

黒曜石の原産地同定分析を行ったところ、長野県和田エリアのものであることがわかりました。北海道内でこの地域の黒曜石製石鎌が見つかったのは、福島町館崎遺跡に続いて2例目になります。幸連5遺跡は直線距離で約650km離れており、長野県から最も遠くで見つかった事例になります。

## ○2018年度の発掘調査概要

発掘調査は、道内2市6町に所在する13遺跡で実施しました。以下、発掘調査成果を時期順に略述します。

## 【縄文時代】

【早期】 苫小牧市高丘8遺跡では、第Ⅲ黒色土層から炭化物集中・柱穴等が検出され、厚真町鯉沼2遺跡では早期後半の遺物が、浦河町向別遺跡、常盤町遺跡は早期の落とし穴、石錘等の礫石器類が出土しています。

【前期】 高丘8遺跡では、盛土遺構・落とし穴群が検出され、土器は静内中野式が多く出土しています。木古内町幸連遺跡では、住居跡・盛土遺構・フラスコ状土坑が検出され、土器は円筒土器下層式、石器は扁平打製石器等が多く出土しています。木古内町幸連5遺跡では、前期後半の斜面盛土遺構・多数の密集したフラスコ状土坑が検出されています。幸連遺跡・幸連5遺跡は段丘頂部を削平し、その土を使って盛土遺構を形成したと考えられ、地形の改変はこの頃から始まっていることがわかりました。

【中期】 幸連5遺跡では、斜面盛土遺構、多数の密集したフラスコ状土坑、削平された凹地・それを挟む2条の直線的盛土遺構が検出されています。また、中期中葉～後葉には多数の密集した住居跡が検出され、このような状況は前期後半から続いています。なお、盛土遺構出土の石刀もこの頃の遺物です。白老町ポロト3遺跡は海岸砂丘の内海側(現ポロト湖)に形成された遺跡で中期後半の土器、海浜礫で構成される礫集中、石核を含む剥片・碎片集中が検出されています。

## 【後期】

幸連5遺跡では中期末～後期初頭の住居跡、削平された凹地、海に向かう2条の直線的盛土遺構が検出されています。

## 【続縄文時代】

斜里町カモイベツ遺跡では砂丘海側肩部に、後北C2・D式期の住居・焼土・剥片集中が検出され、過去に斜里町が調査した地点では宇津内Ⅱ・後北C2・D式期の竪穴住居・土坑墓が検出されており、砂丘頂部から肩部は頻りに利用されていたと推定されます。

## 【擦文文化期】

浦河町向別遺跡からは擦文期の深鉢・回転系切底の坏・須恵器甕片が出土しました。

## 【オホーツク文化期】

斜里町カモイベツ遺跡では摩周b5降下軽石層下位からオホーツク刻文期の小型竪穴・集石が検出されています。



## 【アイヌ文化期】

根室市トーサムボロ湖周辺竪穴群では、樽前a降下火山灰層上位に形成された貝層と、樽前a降下火山灰層下位の駒ヶ岳c2降下火山灰に挟まれた貝層からなる大きな貝塚が検出されました。貝塚からは鉄製品・骨角器が出土しました。斜里町カモイベツ遺跡では樽前a降下火山灰層上位から灰層を伴う地点貝塚・集石が検出されました。貝塚は魚骨を主体として海獣骨が含まれ、鉄製品・骨角器も出土しました。

## ○2018年度発掘調査一覧

事業者		事業名	市町村	遺跡名	面積(m <sup>2</sup> )
国土交通省北海道開発局	札幌開発建設部	長沼南幌道路工事	長沼町	12区C	1,400
		国立民族共生公園	白老町	ポロト3	590
	函館開発建設部	高規格幹線道路函館江差自動車道	木古内町	幸連	877
				幸連5	1,065
	室蘭開発建設部	国営土地改良事業勇払東部(二期)地区	厚真町	鯉沼2	1,917
	釧路開発建設部	根室防雪事業改良等工事	根室市	別当賀一番沢川	195
網走開発建設部	一般国道334号斜里峰浜中央帯設置工事	斜里町	カモイベツ	1,695	
北海道	胆振総合振興局	苫小牧インター線道路改良工事	苫小牧市	高丘8	6,417
				向別	2,400
		上向別浦河道路改良	浦河町	栄丘	800
				昌平町	3,179
	常盤町	18,121			
釧路総合振興局	根室半島線改良工事	根室市	トーサムボロ湖周辺竪穴群	395	
計					39,051

## ○2018年度の発掘調査（2018年度後半）

きこない こうれん  
○木古内町幸連遺跡

調査の様子

遺跡は、道南いさりび鉄道札苅駅の北東1.3km、ポンクレ川右岸の標高24～29mの海岸段丘上に立地しています。調査は平成29年度に続き2年目で、今年度はポンクレ川側の877㎡を調査しました。

遺構は、竪穴住居跡5軒、盛土遺構2か所、フラスコ状の土坑7基、焼土1か所で、時期は縄文時代前期が主体です。盛土遺構は厚いところで約60cmあり、竪穴住居跡を埋めて形成されています。盛土中からは土器やフレイクなどが多量に出土しました。

遺物は、土器では円筒土器下層式、石器では、石鏃やつまみ付きナイフ、すり石など、約37,000点が出土しています。

ながぬま  
○長沼町12区C遺跡

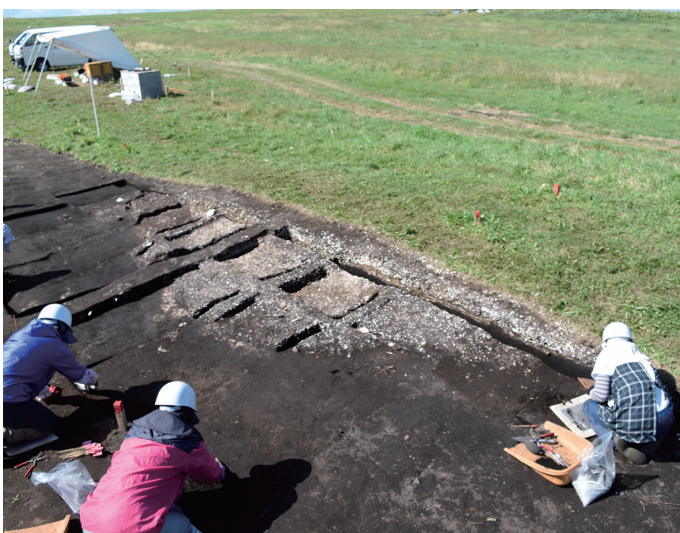
調査の様子

遺跡は、長沼町市街地から東南東へ約2km、富志戸川左岸の低位の段丘上に立地しています。調査範囲の大部分は攪乱されていましたが、川へ向かう沢地形の内部に遺物包含層が良好に残存していました。

古い遺跡名の由来にもなった「富志戸（ふしこ）川」（富士戸川とも書く）は、アイヌ語で「fusko-pet 古い・川」の意と解釈されています。

遺構は、Tピット（狩猟用の落とし穴）を1基検出しました。遺物のほとんどは縄文時代中期末葉のもので、土器・石器等約900点が出土しています。

## ○根室市トーサムボロ湖周辺竪穴群



調査の様子

遺跡は、根室半島東端の納沙布岬から西に約5km、オホーツク海に面するトーサムボロ湖周辺に位置する竪穴群です。当センターの調査は今年で5か年目となり、過去の調査では縄文時代前期やオホーツク文化期の集落跡、アイヌ文化期の貝塚等がみつかっています。

今年度は平成22・23年度の調査範囲に隣接する2か所を、8～10月の3か月間で調査しました。遺構はアイヌ文化期の貝塚や平地住居跡、縄文時代早期の竪穴住居跡等がみつかりました。遺物は、土器では縄文時代早期～晩期やオホーツク式土器等、石器では石鏃やつまみ付きナイフ、砥石等が出土しています。

## ○2019年度発掘調査予定一覧

事業者		事業名	市町村	遺跡名	面積(m <sup>2</sup> )	備考
国土交通省 北海道開発局	札幌開発建設部	長沼南幌道路工事	長沼町	16区F	1,000	
	函館開発建設部	高規格幹線道路函館江差自動車道	木古内町	幸連5	1,622	
北海道	釧路総合振興局	根室半島線改良工事	根室市	トーサムボロ湖 周辺竪穴群	1,267	
東日本高速道路株式会社 北海道支社		苫小牧中央IC雪氷管理施設設置工事	苫小牧市	高丘8	1,600	
					合計	5,489

## ○公益財団法人北海道埋蔵文化財センター 2018年度発掘調査成果展のご案内

期間：2019年3月23日(土)から5月26日(日)  
会場：北海道立埋蔵文化財センターホール・常設展示室  
出土遺物や写真、解説パネルで遺跡調査の成果を紹介する。

【遺物とパネル等で紹介】(常設展示室会場)

木古内町 札苅8遺跡 縄文時代前期

出土遺物(復元土器・石器)

木古内町 幸連4遺跡 縄文時代前期

出土遺物(石器の使用による変形)

木古内町 幸連5遺跡 縄文時代中期～後期

出土遺物(人の顔が描かれた石製品・長野産黒曜石石鏃など)

苫小牧市 高丘8遺跡 縄文時代前期

出土遺物(つまみ付きナイフ集中・石斧集中)

浦河町 向別遺跡 擦文文化期・アイヌ文化期

出土遺物(須恵器・陶磁器・アンモナイト)

根室市 トーサムボロ湖周辺竪穴群 アイヌ文化期

出土遺物(動物遺存体)

斜里町 カモイベツ遺跡 続縄文・オホーツク・アイヌ文化  
期出土遺物(復元土器・石器・骨角器・動物遺存体)

【パネル・写真で紹介】(ホール会場)

木古内町 札苅5遺跡・幸連遺跡

厚真町 鯉沼2遺跡、白老町 ポロト3遺跡

長沼町 12区C遺跡、浦河町 常磐町遺跡

根室市 別当賀一番沢川遺跡、湧別町 川西2遺跡

[トピック展示]

胆振東部地震による厚幌導水路関連遺跡周辺の地形改変

## ○公益財団法人北海道埋蔵文化財センター 2018年度発掘調査報告会のご案内

期日：2019年4月13日(土)

13:30から16:00(予定)

場所：北海道立埋蔵文化財センター研修室

2018年度に当センターが調査した遺跡についてわかりやすく紹介します。受講無料【道民カレッジ連携講座】

報告予定遺跡

斜里町 カモイベツ遺跡

厚真町 鯉沼2遺跡

苫小牧市 高丘8遺跡

木古内町 幸連5遺跡

展示解説 各講師



木古内町幸連5遺跡出土 人の顔が描かれた石製品



## ◆交通案内◆

- ・JR大森駅から、徒歩約20分
- ・新さっぽろバスターミナル発
  - ・JRバス(文京台線循環新83)・夕鉄バス(文教通西)に乗り「くりの木公園前」下車、徒歩5分
  - ・JRバス・夕鉄バス(江別方面行き)に乗り「北翔大・札学院大前」下車、徒歩15分